

2021年5月26日

愛知県知事
大村秀章さま

愛知障害フォーラム (ADF)
代表 加賀 時男
愛知県重度障害者団体連絡協議会
会長 長谷 由香

【緊急要望】

新型コロナウイルスワクチン接種における合理的配慮の積極実施について

日頃より障害者福祉の向上にご尽力をいただきありがとうございます。

私たち愛知県重度障害者団体連絡協議会は、愛知県内の16団体が加盟し、重度障害者の生活と権利を守るため、団体相互が連携を図りながら、社会的にも立ち遅れている障害者福祉の向上を目指し、活動をしています。

高齢者において新型コロナウイルスワクチン接種について、実施（もしくは予定）がはじまり、一部自治体では、シャトルバスを活用した集団接種による方法が用いられています。

しかし、バスが車いす対応車両となっていないため、乗車できず、高額なリフトタクシー利用料を自費で支払った、もしくは接種を諦めざるをえなかったケースが発生しています。

今後の優先接種対象者である「高齢者以外で基礎疾患を有する者」には、多くの障害者が含まれることから、障害者差別解消法および愛知県障害者差別解消法において規定する、合理的配慮を多様かつ積極的に実施し、障害者がワクチン接種から取り残されることの無いよう、愛知県として現状を把握し、県内市町村に周知いただきますよう要望します。

【必要とされる合理的配慮例】

- ①会場までのリフトタクシーを手配する。利用料を行政負担する。
- ②接種に必要な移動支援等の時間数を上乘せする。
- ③かかりつけ医や戸別訪問による接種を実施する。
- ④会場に手話通訳、要約筆記を配置する。
- ⑤封筒や案内、接種券に点字を入れる。

以上の質問に対して、6月2日までに、文書（Eメール）にてご回答いただきますよう、お願い致します。
なお、この文書に関する質問等は、事務局（担当：入谷）までお願い致します。

愛知県重度障害者団体連絡協議会事務局

〒466-0037

名古屋市昭和区恵方町 2-15 A J U車いすセンター内

TEL：052-851-5240

FAX：052-851-5241

Eメール：ajjuren@aju-cil.com

新型コロナウイルスワクチン接種における合理的配慮に関する緊急アンケート調査結果 v o l . 1

作成日:2021.5.24

作成者

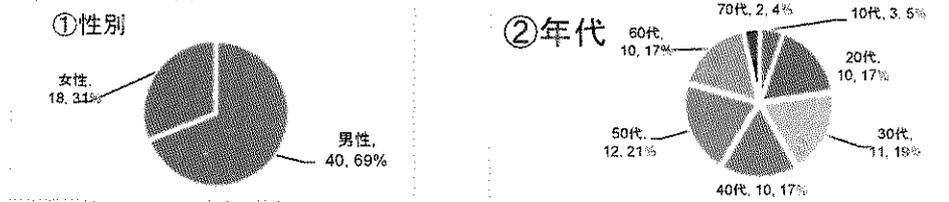
愛知障害フォーラム(ADF)

愛知県重度障害者団体連絡協議会

【調査概要】

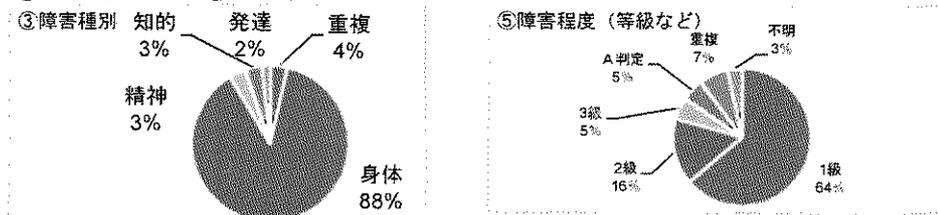
愛知障害フォーラムおよび愛知県重度障害者団体連絡協議会加盟団体および会員に対し、5月14日からアンケートを作成、21日までにGoogleフォーム、Eメール、FAXにより、58名の回答を第1次として集計した。(現在も集計中)

1 ①性別および②年代



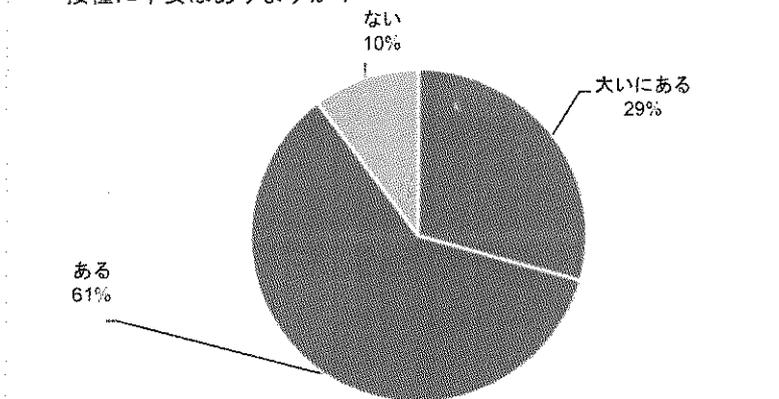
性別では男性からの回答が多く、年代別では、20代から60代で幅広く回答頂いた。

2 ③障害種別および⑤障害等級



障害種別では身体障害がある方からの回答が最も多く、また障害等級では一級の重度の方から回答頂いた。他には知的障害や精神障害といった方からの回答をいただいた。

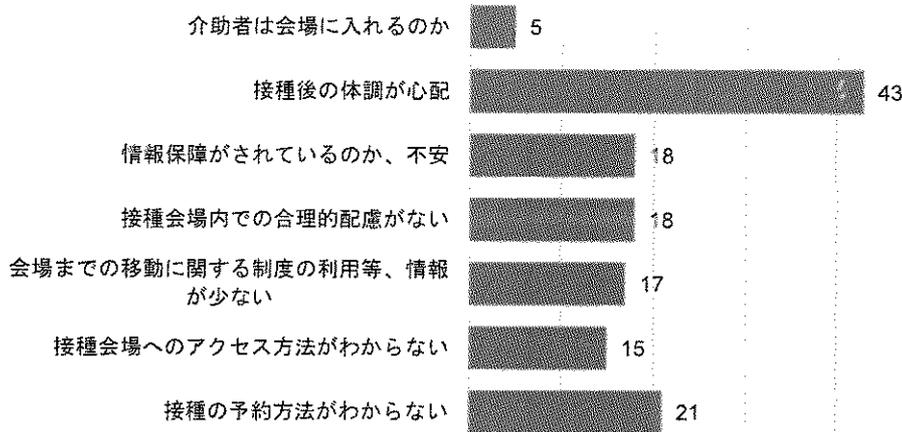
3 ⑥新型コロナウイルスのワクチン接種に不安はありますか？



ワクチン接種に関する不安について、大いにある、あるを合わせると、9割の人が何らかの不安を持っているという結果が出た。

4

⑦ ⑥の質問で、不安が「大いにある」「ある」とお答えいただいた方の不安要素【複数回答可】



その他

- ・いつ打てるのかわからない。
- ・2回打つのは意味があるの？
- ・変異型などには効果が薄れる可能性があること。
- ・接種を希望する医療機関での予約開始等がわからない(ワクチンがいつか届くのか不明)。

ワクチン接種自体に関する不安がもっとも多く、接種の予約方法、接種会場に関する不安が続きます。背景として、情報の少なさと、現在起きている高齢者接種において予約がしづらいことについて同様の問題が起きる可能性が高いことによる不安だと考えられます。

5 自由記述

- ・毎日の生活に介助者が入れ替わり立ち替わり来るので、訪問事業者にも優先してワクチン接種を行なって欲しい。
- ・集団接種の会場が、学校の体育館の場合、2階が会場となったとき、どうするか？
- ・一階にある学校に行ってくれと言われたいないようにしてほしい。
- ・予約、受付方法の明確化してほしい。
- ・出来るだけ早く打てるといいな。
- ・予約制度なく、市町村から日時等の指定制度で、都合が合わない者のみ、電話で再予約をする(相馬市方式)のようにしてほしい。
- ・接種の会場に行かなくても、かかりつけ医や在宅医の往診の際に接種することは可能なのか知りたい。
- ・①障害の状況から並んで待つことは困難。②接種会場が自宅から遠い場合、行く事が困難。
- ③障害のある人が一般と混じる事はリスクが高い為、別枠で確保出来る様にして欲しい。
- ④行きつけの病院で優先接種を望む。
- ・マスクをする事が困難、大勢の中で待つ事ができない、周りの目が怖い。
- ・複数の病院にかかっているため、問診表の内容が気になります。
- ・障害の種類や程度によっては65歳以上の方と同程度のリスクがあるにも関わらず、先行接種の対象になっていない。政府のワクチン接種に対する取り組みが余りにも遅く杜撰である。また、ワクチンの情報提供が非常に少なく不安。
- ・会場はどこになるのか。わからないことが多くてわけわからん。

NHK NEWS WEB

2021年(令和3年)5月24日 月曜日 文字サイズ 小 中 大

福島 NEWS WEB

福島放送局 トップ

視覚障害者に点字のないワクチン接種通知 障害に合わせ配慮を

05月19日 18時57分

新型コロナウイルスワクチンの高齢者への優先接種が進む中、会津若松市が視覚障害者に郵送した接種の予約に関する書類に、点字の表記がついていなかったことがわかりました。

福島県は、障害者に配慮した対応を行うよう、あらためてすべての自治体に通知する方針です。

会津若松市の菊池正光さん(66)は27歳のときに病気で視力を完全に失い、現在は1人暮らしをしながら自宅でしんきゅう院を運営しています。

先月下旬、市から新型コロナワクチンの接種券や予約窓口の電話番号などを記載した書類が郵送で届きましたが、封筒には「会津若松市健康増進課」という点字の表記があったものの、書類には点字が無く、接種券が届いていたことに気がつかなかったということです。

およそ2週間後に自宅を訪れたヘルパーが書類を見つけたことでようやく書類の存在に気づき、その後ヘルパーの助けを借りて接種の予約をとることができたということです。

菊池さんは「ワクチン接種という重要な内容なのに誰かの目で見てもらわないと内容が全くわからない状況だった。視覚障害者の場合は点字や音声と一緒につけてもらうかまたは役所から直接連絡してもらうなどの対応が必要で障害の特性に配慮しながらきめ細かな対応をしていただきたい」と話していました。

シェアする  

福島のニュース

福島県 新型コロナ新たに22人感染 計4468人 5月24日 13時18分 

外国人からの119番通報に対応 いわき市消防本部で訓練 13時23分 

福島第二原発 富岡町が廃炉作業の開始 事前了解へ 15時18分 

食品の放射性物質の基準値 科学的見地から検証実施 厚労省 5時47分 

福島県内の港を利用した輸出入の総額は2年連続で減少 5時47分 

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/fukushima/20210519/6050014548.html>

4

全国のニュース



ワクチン大規模接種センター きょうから東京大阪で接種開始 13時32分



大阪の大規模接種 今月31日~来月6日分の予約約30分で埋まる 15時13分



台湾 WHO年次総会に招待なし 閣僚2人が「強い不満」表明 13時17分



愛媛県 新型コロナ 66日ぶり 新たな感染確認されず 15時27分



高橋内閣官房参与 緊急事態宣言を「屁みたいなもの」と投稿 14時34分



富山市の住宅街にイグアナとみられる動物 警察が飼い主探す 14時31分



映画「鬼滅の刃」興行収入 400億円突破 観客動員数は2896万人 13時11分

[全国のニュースを見る](#)

事務連絡
令和3年3月3日

各都道府県衛生主管部（局）御中
各都道府県障害保健福祉主管部（局）御中

厚生労働省健康局健康課予防接種室
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課

新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する合理的配慮の提供について

新型コロナウイルス感染症に係る予防接種（以下「新型コロナワクチン」という。）については、「「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施に関する手引き」の改訂について」（令和3年2月16日健発0216第1号厚生労働省健康局長通知）において、接種体制の構築に向けた準備の参考となるよう、「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種実施に関する手引き（第2.0版）」が示されたところですが、障害者に対し、新型コロナワクチンの円滑な接種が実施されるためには、障害特性に応じた合理的配慮の提供が必要と考えられます。

つきましては、下記のとおり、障害特性に応じた合理的配慮の提供に関する一例をお示ししますので、各々の障害特性を踏まえ適切な配慮が提供されるよう、衛生部局や障害保健福祉部局等において、引き続き連携を図っていただきますよう御協力をお願いするとともに、本事務連絡の内容を管内市区町村に周知いただくようお願いいたします。

なお、障害特性を踏まえた適切な配慮の提供に当たっては、視聴覚障害者情報提供施設等の地域の関係機関と連携を図っていただくよう、重ねてお願いいたします。

記

1 障害者に係る相談体制の確保や情報周知について

新型コロナワクチンに関する相談体制については、「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する相談体制の構築について」（令和3年2月17日付け事務連絡）において、自治体における相談体制の構築をお願いしているところですが、聴覚障害者等については電話により相談することが困難な場合もあることから、コー

ルセンター等の相談窓口では、電話以外にも、FAX やメール等による相談対応についても可能としていただくようお願いします。また、知的障害者や発達障害者等に対しては、専門的な用語や抽象的な言葉を用いず、平易な言葉で繰り返し説明する、分かりやすい絵カードや写真等を用いるなどの配慮をお願いします。

また、新型コロナワクチンに関する情報周知に関して、視覚障害者については、十分に情報を入手することが困難な場合もあることから、視覚障害者が郵送物の選別をするために、内容（「新型コロナウイルスの予防接種のご案内」等）及び発信元（自治体名等）を点字や拡大文字での表記を検討するようお願いします。これ以外にも、自治体のホームページ等において、視覚障害者向けテキストデータや、聴覚障害者向け字幕映像の提供等についても検討をお願いします。

2 接種時等における合理的配慮等について

新型コロナワクチンの接種を実施する医療機関や市区町村が設ける会場等においては、介助者や家族に対して丁寧な説明を行うとともに、可能な限り、

- ・ 聴覚障害者等向けにコミュニケーションボード等による案内
- ・ 視覚障害者等向けに放送や音声による案内
- ・ 知的障害者や発達障害者等に対する分かりやすい言葉や、絵カード・写真等を用いた丁寧な説明

等の障害特性を考慮した対応をお願いします。

加えて、障害者が新型コロナワクチンの接種を受けるに当たっては、接種会場において、公的な福祉サービスによる支援（居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援、遠隔手話サービスを含めた意思疎通支援事業等）が円滑・柔軟に受けられるよう配慮をお願いします。

<参考>

「医療機関における障害者への合理的配慮 事例集」

（平成 29 年度障害者総合福祉推進事業）

<https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/000331883.pdf>

事 務 連 絡
令和3年4月13日

各都道府県及び市区町村 衛生主管部（局） 御中
各都道府県及び市区町村 障害保健福祉主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課

新型コロナウイルスワクチンに係る予防接種に関する障害者への接種について

障害者に対する新型コロナウイルス感染症に係る予防接種（以下「新型コロナウイルスワクチン」という。）については、「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する合理的配慮の提供について」（令和3年3月3日事務連絡）において、障害特性を踏まえた適切な配慮が提供されるよう、必要な事項をお示ししているところです。

今般、障害者に対する新型コロナウイルスワクチン接種が迅速かつ円滑に行うことができるよう、留意すべき事項を下記の通りお示しますので、都道府県及び市町村（以下「市区町村等」という。）におかれては、それぞれの衛生部局や障害保健福祉部局において、この留意すべき事項を踏まえ、引き続き連携を図るとともに、医療関係団体や障害者関係団体等ともご協力いただきますよう、お願いいたします。

併せて、市区町村等におかれては、本事務連絡の内容を管内の関係団体に周知いただくようお願いいたします。

記

障害者が新型コロナウイルスワクチンの接種を受けるに当たっては、障害特性への配慮が必要であるほか、公的な福祉サービスによる支援が必要な場合などもあることから、必要な段取り等に要する期間も考慮の上、接種の意向や接種する場合の段取り等について、かかりつけ医等と相談しておくことが必要で

ある。

このため、市区町村等においては、接種対象者が接種可能となった段階で速やかに接種を受けられるようにするため、接種を行う場合の準備をあらかじめ進められるよう、障害者とかかりつけ医等が早めに相談することについて、関係団体等の協力も得ながら、周知を行うこと。

また、障害者に新型コロナウイルスワクチンを接種できるかかりつけ医等がない場合については、必要に応じ、市区町村等において医師会等の関係団体と連携のもと、実施可能な医療機関や市区町村が設ける会場等を紹介するなどの対応を行うこと。

高齢者である障害者、基礎疾患を有する障害者や基礎疾患を有しない障害者いずれの場合にあっても、それぞれの接種可能段階において円滑かつ迅速に接種が可能となるよう、市区町村等においてはきめ細かな相談や接種時等の障害特性に考慮した対応など合理的な配慮を行うこと。

なお、市区町村等における障害者からの相談に当たっては、別添「新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する合理的配慮の提供について」等も参考としつつ、障害者が必要な情報を得ることができるよう、適切な対応を行うこと。

以上

広告

介護職専門の求人情報サイト
Jobマ!
 PRODUCED BY RECRUIT

WEBですべて完結 法人向け

採用困難な介護職人材を最短翌日に紹介

2021.03.05

障害者のワクチン接種、合理的配慮を要請 政府 会場での障害サービスも可

ケアマネ

介護福祉士

介護施設

政府与党

訪問介護

通所介護

共生社会

障害福祉

厚労省

国会

ツイート

シェア 62

0



広告

介護職専門の求人情報サイト
Jobマ!
 PRODUCED BY RECRUIT

WEBですべて完結 法人向け

採用困難な介護職人材を最短翌日に紹介



〈河野太郎担当相：3日撮影〉

エンジニアが
直接対応

100%非対面
試作製造ならプロトタイプ

見積り平均3時間 納期最短

相談無料
厚労省後援

介護ロボット、現場へ
どう導入？ 相談窓口
が受付け！

詳しくはこちら

New Articles
新着記事

政府は3日、新型コロナウイルスワクチンを接種する障害者への適切な支援を要請する通知を全国の自治体へ出した。【鈴木啓純】

広告

「障害特性に応じた合理的配慮の提供が必要」と呼びかけている。居宅介護や重度訪問介護、同行援護、行動援護、移動支援といった障害福祉サービスを、接種会場で柔軟に受けられるようにすることも求めた。

新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関する合理的配慮の提供について

あわせて、聴覚障害者向けのコミュニケーションボード、視覚障害者向けの放送・音声、知的障害者向けの絵カード・写真などを接種会場に用意する措置も例示。ワクチン接種に関する案内を出したり相談を受けたりするシーンでも、個々の障害特性を考慮したきめ細かい対応をとるよう促した。

4日の参議院予算委員会では河野太郎担当相がこの件に言及。「障害者が情報を正確に受け取れるようにすること、円滑にワクチンを接種できるようにすることは非常に大切。そのための費用は国が全額負担する」と述べた。公明党の佐々木さやか議員への答弁。

新型コロナの介護施設での療養、1人あたり最大15万円を追加支援 厚労省

つらい耳鳴りが…はじめは疑った私、でも使ってみたら PR(深平智恵株式会社)

在宅系介護職のワクチン優先接種「進んでいない」 介護福祉士会が問題提起

介護の利用者負担、原則2割に 財政審が報告書 ケアプラン有料化も

リボ払い3年以上の人は『借金救済措置』を試して PR(減額診断)

Recommended by LOGLY



広告



2021年5月25日(火)

天気 社説 凡語 イベント

京都新聞

ホーム

京都

滋賀

観光

医療・コロナ

スポーツ

社会

文化・ラ

京都情報大学院大学



大学院説明会開催中

トップ > 医療・コロナ > ドライブスルー方式でワクチン接種 車いすや持病ある人に、京都・笠置

地域

有料会員登録

ドライブスルー方式でワクチン接種 車いすや持病ある人に、京都・笠置

2021年5月6日 17:42



記事を保存



65歳以上の高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種について、京都府笠置町は8日までに、車いす使用者や持病のある人らを対象にドライブスルー方式で接種を行うことを決めた。

ニュース

接種会場までのタクシー代、高齢者の負担は「片道500円」...市が差額を補助

2021/05/11 00:20 新型コロナ

東京都昭島市は、新型コロナウイルスワクチンの接種を受ける65歳以上の高齢者に対し、市内の会場と自宅を行き帰りするタクシー代を一部助成する。



同市では、JR昭島駅近くのホテルで25日から集団接種が始まる。この会場などで接種を受ける約2万9000人が助成の対象になる。

利用者の自己負担額は片道500円。タクシー会社は乗車料金から500円を引いた差額を、市へ請求する。1、2回目いずれの接種時にも利用できる。

市交通対策課の担当者は「交通の便が悪い地域の住民や、歩行困難な人への支援になるといい」と話して

いる。

入所型の障害者施設もコロナワクチン優先接種の対象に 茨城

2021年4月16日 21時05分

高齢者への優先接種が始まった新型コロナウイルスのワクチンについて、茨城県は、これまでに県内の複数の障害者施設で感染者の集団＝クラスターが相次いだことを受け、障害者施設の入所者や職員も新たに優先接種の対象とすることを決めたことが分かりました。

今月12日から始まった高齢者のワクチン接種について、茨城県では、これまでに高齢者施設の入所者と職員を優先して接種を始めています。

一方で、県内では障害者施設で複数のクラスターが発生していて、こうした施設では共同生活をしていて密になるのが避けられない環境があることから、県は入所型の障害者施設についても高齢者施設と同様に優先して接種を行うことを決め、県内の各市町村に通知したということです。

新たに優先接種の対象となるのは県内の障害者施設の入所者と職員で、64歳以下の人も対象になるということです。

対象となる人数は現在、精査中だということですが、県によりますと県内には入所型の障害者施設やグループホームがおよそ330か所あり、入所者の定員は8000人余りだということです。

県のワクチン接種チームは「入所型の障害者施設では、感染が発生しても病院に移るのが難しい人が多いため、一度クラスターが発生すると収束が難しい状況があったことから、入所型の施設を優先することが重要だと考えた」としています。

現在の位置： [トップページ](#) > [くらしの情報](#) > [福祉・介護](#) > [障害福祉](#) > [新型コロナウイルスワクチン接種会場までのタクシー料金を助成します。](#)

新型コロナウイルスワクチン接種会場までのタクシー料金を助成します。

心身障害者や高齢者が新型コロナウイルスワクチン接種会場の往復に利用できるタクシー料金助成利用券を交付します。

ページID1007335

更新日 2021年4月15日

※ワクチン接種以外の目的では利用できません。

対象者

- (1)心身障害者福祉タクシー料金助成利用券の交付を受けている16歳以上の人
- (2)高齢者タクシー料金助成利用券の交付を受けている人
- (3)介護タクシー料金助成利用券の交付を受けている人

交付枚数

申請日時点のワクチン接種回数に応じて、令和4年3月まで有効な利用券を最大4枚交付します。

申込み

- (1)の人は身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を持参して、福祉総務課へ。
- (2)、(3)の人は、長寿課へ。

※心身障害者福祉タクシー、高齢者タクシーまたは介護タクシーと同時に申請することができます。

新型コロナウイルスワクチン接種にかかる移動支援について

2021年5月12日

市では、新型コロナウイルスワクチン接種にかかる移動支援として、以下の事業を実施しています。

1. あいあいバスによる移動支援

新型コロナウイルスワクチン接種を受けるため、あいあいバスを利用して接種会場まで移動する場合、往路復路ともに降車時に「新型コロナウイルスワクチン予防接種券」を運転士に提示することで、あいあいバスの運賃が無料となります。

期間

令和3年5月8日（土）から令和4年3月31日（木）まで

（年末年始を除く）

対象者

集団接種・個別接種を問わず、ワクチン接種のため、あいあいバスを利用して接種会場まで移動する市民

利用方法

- 1 後ろのドアから乗車してください。
- 2 乗車口右側から出てくる整理券をお取りください。
- 3 バスから降りるときに、新型コロナウイルスワクチン予防接種券を運転士に提示し、料金箱に整理券を入れて降りてください。

注意事項

- ・路線バス（岡田線、佐布里線、朝倉団地線、日長団地線）は無料対象ではありません。

あいあいバスの時刻・路線図は、[こちらのページ](#)（新しいウィンドウで開きます）をご覧ください。

お問い合わせ

市民協働課 電話：0562-36-2645

2. 福祉タクシー等料金助成利用券の追加発行による移動支援

新型コロナウイルスワクチン接種会場までの移動が困難な方に対し、接種2回分の往復に要する4枚の福祉タクシーの初乗り料金等の助成利用券を追加発行します。

期間

令和3年5月8日（土）から令和4年3月31日（木）まで

対象者

(1) 福祉タクシー料金助成

- ア 満65歳以上の方で、要支援・要介護の認定を受けている方
- イ 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方

(2) リフト付きタクシー料金助成

- ア 要介護3以上に認定された方で、ねたきり状態又は車椅子を使用する必要がある方
- イ 身体障害者手帳（1級、2級又は下肢若しくは体幹機能障害3級）の交付を受けている方のうち、常時ねたきり又は車いすを利用している方

助成額

(1) 福祉タクシー料金助成

基本料金（初乗りから1.2 kmまでの乗車料金）

(2) リフト付きタクシー料金助成

30分又は10 kmの乗車料金相当額若しくは1時間又は20 kmの乗車料金の8割相当額（ただし、上限4,510円）

申請方法

福祉タクシー料金助成事業及びリフト付きタクシー料金助成事業により、既にタクシー料金助成券の交付を受けている方は、交付済みのタクシー料金助成券を使い切った後に追加分の申請を行ってください。

交付を受けていない方は、市役所長寿課又は福祉課窓口へ申請してください。

その他

ワクチン接種会場への移動にタクシーを使う際は、混み合う可能性があるので、事前にタクシー会社に予約してご利用ください。

お問い合わせ

福祉課 電話：0562-36-2650

長寿課 電話：0562-36-2652

新型コロナウイルスのワクチン接種が各地で本格化する中、接種の仕組みからいけば落ちかぬ高齢者らが悩みを抱えている。要たきりや体力の問題などで接種会場に向くのが難しくかったり、予約方法が複雑に感じられて理解できなかったり、「ワクチン難民」とならないよういかに周知がポイントとなるが課題となっている。

(今村節、松野穂波、牧野良夫)

移動が大変

予約難しい

ワクチン難民

「公的支援を」

中部6県の高齢者のワクチン接種状況

5月16日時点で1回目の接種を終えた高齢者 A(人)

2019年10月の高齢者人口推計 B(人)

$\frac{A}{B} \times 100$

県	A(人)	B(人)	%
愛知県	91万3245	358万5000	2.5%
岐阜県	5万5296	189万2000	2.9%
静岡県	1万8954	59万9000	3.2%
長野県	1万1582	53万0000	2.2%
富山県	2万2248	65万3000	3.4%
石川県	1万8598	36万8000	5.1%
福井県	9768	23万5000	4.2%

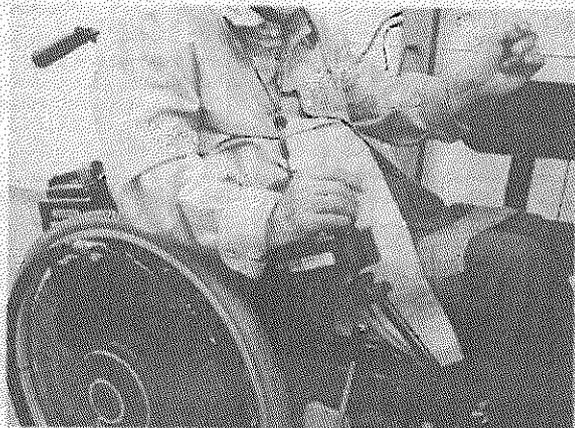
A 一部65歳未満も含まれる。富山県ホームページから
B 政府統計ポータルサイトから

事故で首から下がまひし、車いすで生活する愛知県清須市の男性(60)。六月九日に一回目の接種の予約をしたものの、移動手段に悩む。会場となる大規模な病院へは、市内四方所からシャトルバスで移動することになっているが、車いすに対応していないという。

車いすのまま乗車できる福祉タクシーを使うと、会場までは往復で一万円ほどかかりそうだが、「同じような状況で周回の手助けを要けられない人がいることを知ってほしい」と話す。

要たきりなど要介護度が高く会場に行けない高齢者も多い。国は医師らが自宅に向く訪問接種も認めている。だが、名古屋市の担当者は「かかりつけ医が接種をしていない場合、他の訪問診療医に行ってもうるのは課題がある」と話す。

要介護 訪問接種に壁 障害者 9割が「不安」



障害者へのワクチン接種で配慮を求める男性(名古屋市中川区)

と話す。

副反応があった場合の対応もあるため、現場の医師からは「初めての患者に接種するのはなかなか難しい」との声があるという。

ワクチンの使用期限を巡るハードルもある。一週で五、六回分ある米ファイザー製のワクチンは生理食塩水で希釈後、六時間以内に使い切らなければならぬ。百人程度の在宅患者に接種する予定の岐阜県恵那市の訪問診療医、藤津潤樹さん(58)は、問診や接種後に副反応が出ないか観察する時間を考えると、一人当たり三十分程度かかるとみる。

貴重なワクチンに余りが出ないように、一日の接種人数を調整する必要があるという。「一朝から晩まで巡回しなくてはならない人が限られる」と思っていると話す。

何をどうしたらいいのか、全然分からなかったという接種券が届いた当時を振り返るのは、名古屋市の独自の女性専用だ。認知症で要介護認定を受けている。コールセンターに三日間、電話をかけて続けたがつながらなかったという。インターネットは使えず、遠方の母には頼れない。最終的に、NPO法人「たすけあい名古屋」の支援で大規模接種会場に友人と一緒に行くことになった。NPO理事の大河内章三さん(60)は「一人で予約して会場に行くのが難しい高齢者はたくさんいる。公的支援が必要だ」と訴える。

一方、要介護重度障害者団体連絡協議会と認知障害フォーラム(ともに名古屋市中川区)などが、県内の障害者にワクチンに関するアンケートを実施したところ、回答が寄せられた五十八人(二十一日時点)の九割が「不安が大きい」とある。「不安がある」とした。

接種後の体調や会場での配慮への懸念が目立つという。愛重連副会長の辻直哉さん(60)は「高齢者接種で起きている問題は早めに解決してほしい」と話す。

中部各地 広がる工夫

接種の手続きでつまづかないよう、お年寄りをサポートする工夫が各地で広がる。

愛知県武豊町は二十一日、スマートフォンやパソコンの操作が苦手な人向けに町職員がネット予約の手伝いを始めた。会場の公民館には多くの高齢者が来場。町健康課の近藤昭子課長(56)は「電話がつながらず、ネットのやり方も分からないのでは不安。安心して接種を進められるようにしたい」。同県常滑市は市内の中学生に祖父母らのネット予約を代行するよう協力を依頼しており、市教委の担当者は「今こそ孫の行動力を見せるとき」と期待する。

滋賀県野洲市の大塚原自治会は、予約受け付けが再開される二十五日から、自治会館でネット予約を代行することを決めた。岩佐卓実会長(60)は「百回電話してもつながらなかった、という徳施やほやきをたどる人聞いたから」と話す。

三重県鳥羽市では五月十七日、地域おこし団体「どーい」といふメンバー七人が公民館で七十六人のお年寄りから希望日時を聞き取り、ネット予約を代行した。

一方、岡県いなべ市は高齢者の集団接種であって予約制を採用しなかった。市が日時を指定し、自治会ごとに実施する。市の担当者は「高齢者にかかる負担を考慮したい」と話す。

「孫」に助っ人依頼 ■ 自治会でネット代行

